

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2013年度 第2号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
 TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
 E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
 TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
 E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp



●ホームページのアドレスが変わりました → <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

今年も田植え、野菜等の定植が終わり本格的に試験研究が始まりました。

5月には行政、普及関係機関の担当者にもお集まりいただき、試験設計検討会を実施し、研究内容の周知を図るとともに色々なご意見をいただきました。

本号では、その中から野菜及び作物研究の取り組みについて紹介させていただきます。また、8月下旬には、生産者、関係機関の方々をお招きし、恒例の試験研究中間検討会を開催させていただきますのでよろしくお願い致します。

● ホウレンソウの移植栽培

飛騨地域の夏ホウレンソウは直播きによる連作技術体系が概ね完成していますが、生産性を更に向上させるためには、在圃期間をより短くして作付け回数（圃場回転数）を増やす必要があります。そこで、これまで検討されてこなかった移植栽培について検討をはじめました。今年度は簡易移植機を用いた連続栽培に取り組んでおり、現在4作目を栽培中です（慣行の直播栽培は2作目を終了）。今後は年7作以上を目標に試験を継続する予定です。

慣行栽培と移植栽培の比較（3～7月）



簡易移植機での移植作業

	3月	4月	5月	6月	7月	
移植栽培	3/6 ○-----	3/28 ▽=====	4/26 ■	4/4 ○-----	4/30 ▽=====	5/21 ■
移植栽培			5/7 ○-----	5/29 ▽=====	6/21 ■	
移植栽培				6/3 ○-----	6/27 ▽=====	
慣行栽培	3/29 ○=====		5/13 ■	5/25 ○=====	6/27 ■	

土壤消毒

夏秋トマト 高軒高ハウスとミスト散布で高温対策

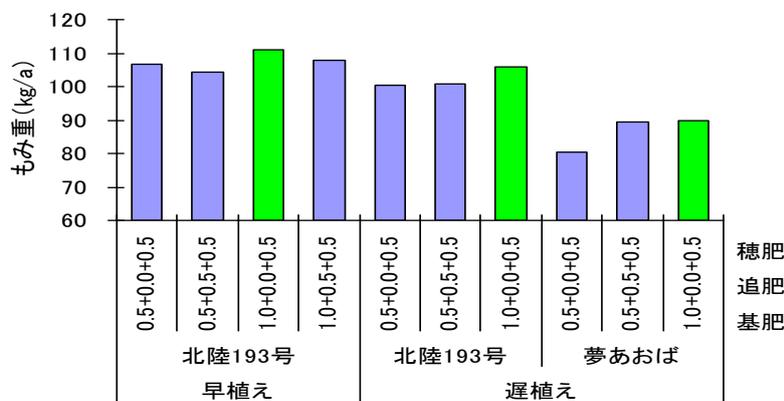
雨よけハウスを利用した夏秋トマト栽培では、夏期高温期の着果不良や果実品質の低下などが問題となっています。近年の温暖化傾向により、その影響は今後さらに大きくなると予想されます。研究所では、従来の雨よけハウスより軒高を1.2m程度高くした高軒高ハウスを設置し、通気性の向上を図るとともに低圧で作動するミスト散水装置によるハウス内気温の適正化に取り組んでいます。同装置は比較的安価ですが、ミスト粒子が粗くトマト葉面の濡れが問題となっています。本年度は、ハウス内気温を低下させつつ、葉面の濡れを軽減する散布間隔や散布時間について研究を行っています。



低圧ミスト散水装置の設置の様子

飼料用米の多収栽培技術

近年、県内で飼料用米の作付けが拡大してきています。しかし、水稻の家畜飼料への利用はわらが中心で、もみの収量にはあまり注目されていませんでした。そこで、低コストで多収となる栽培方法を検討しました。中津川市における「北陸193号（（独）農研機構中央農研育成）」の早植え（4月下旬）と遅植え（5月下旬）、「夢あおば（同育成）」の遅植えにおいて、いずれも基肥窒素10kg/10aと出穂の20日程度前に穂肥窒素5kg/10aを施用することで、多収になることが明らかになりました。



移植時期、品種等、施肥法ともみ重量の関係



成熟期の「北陸193号」

中間検討会を開催します！



生産者や農業関係者の方々に、試験ほ場を実際にご覧いただき、本年度の研究内容や進捗状況について説明します。

本所(古川)：8月28日(水) 13時から

中津川支所：8月29日(木) 13時30分から

是非この機会に、多数の皆さんの参加をお待ちしています。